

～エコな風だより～

発行日
2019/6/1

第7号
6月版

6月は環境月間です。

みんなを創り 未来につなぐ
豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち福山
持続可能な社会の実現をめざして

福山市は、本年三月に「第二次福山市環境基本計画」を策定しました。この計画は、市民、事業者、行政に共通する長期的な目標として、将来の福山市の環境のあるべき姿を示すものです。

めざす環境像は、「みんなを創り 未来につなぐ 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち福山」持続可能な社会の実現をめざしてです。

言葉に込められたイメージは、①市民参加型の計画であり、これまでの「協働」の取組を更に深め、多様な主体と連携して環境問題に取り組んでいく姿を「みんなを創り」と表しています。②大人も子どもも環境意識を持って積極的に参加したくなるイメージで、「健全で恵み豊かな環境の将来の世代への継承」を表しています。③市の豊かな自然環境や生き物を大切にし、環境問題に積極的に取り組むことで、経済、健康、福祉などの社会的課題も同時に解決されたまちの姿を表しており、「調和」は第一次計画の望ましい環境像の考えを受け継いでいます。

めざす環境像を達成するために5つの目標を定めています。

基本目標1 低炭素社会の構築

コンパクト・プラス・ネットワークの考え方でまちづくりが進むとともに、あらゆる主体における温室効果ガスの排出が最小化され、気候変動による影響に適応した低炭素型のまちをめざします。

基本目標2 循環型社会の構築

限りある資源が大切にされるとともに、3Rの取組が進むことで、廃棄物の発生が抑制された、環境への負荷が少ない資源循環型のまちをめざします。

基本目標3 地域環境の保全

大気や水質の改善、環境美化活動、緑化が進み、良好な景観が形成された、快適に暮らせるまちをめざします。

基本目標4 自然共生社会の構築

里山・里地・里海が保全・回復し、緑豊かな山々や美しくきれいな海や川に囲まれ、多様な生物が息息した、豊かな自然と人が共生するまちをめざします。

基本目標5 持続可能な社会を担う人づくり

環境について学び、触れ合う機会が充実することで、持続可能な社会を担う人が育成され、環境にやさしいライフスタイルや事業活動が定着したまちをめざします。

「第二次環境基本計画概要版」を福山市ホームページに掲載しています。

「持続可能である」
「こととは

「持続可能である」とは、今の地球環境が保たれ、未来まで続くということです。すなわち現在の私たちだけではなく、未来の人たちも豊かな暮らしができる状態であるということです。私たちの子どもや孫も豊かに暮らすためには、地球環境を守り、受け継いでいく必要があります。

持続可能な社会を
つくるライフスタイル

地球上の資源は限りがある中で、持続可能な社会をつくるには、私たち一人ひとりが常に持続可能性に配慮して行動することが必要です。

ところが、環境問題に関する日本人の行動は、日常生活の中で実践されるものに限られる傾向にあると環境省の「環境にやさしいライフスタイル実態調査※2013年実施」で明らかになっています。環境配慮行動ごとに実践している人の割合を見ると、「ごみの分別」、「節水」等、日常生活の中で実践可能なものが多く、日常生活以外の積極的な環境に配慮した行動の割合が少ない傾向が見られます。

持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた潮流



出展：国連広報センター

環境問題に対して、国際社会が協働して解決に取り組んでいくため、2015年9月の国連総会において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。その中に、「持続可能な開発目標(SDGs)」として、17のゴールと169のターゲットが設定されています。

SDGsの17のゴールには、水・衛生、エネルギー、持続可能な都市、持続可能な生産・消費、気候変動、陸域生態系、海洋資源といった地球環境そのものの課題や、地球環境と密接に関わる課題が数多く含まれています。日本においても、「持続可能な開発目標実施指針」が決定され、市民社会や民間企業を巻き込んで具体的なアクションを起こしていくとしています。

ecoチャレンジ講座の予定

6月

申し込みは6月4日(火)8時30分からです。

事前に申し込みが必要な講座は毎月ひとり4講座まで。

日時	講座名	材料費	定員	
11日(火) 13:00~15:00	カエルの合唱【押し花】	300円	10名	
13日(木) 13:00~15:00	大切に使うマイ包丁【包丁研ぎ】	200円	10名	
15日(土) 10:00~12:00	ガラスにアート【サンドブラスト】	100円	10名	
16日(日) 10:30~14:00	くるくるたこコプター	無料	なし	申込不要
19日(水) 9:30~12:00	日よけ帽子【布リフォーム】	300円	10名	
20日(木) 9:30~12:00	布ぞうり	無料	7名	
23日(日) 10:30~14:00	ペットボトルが変身【けん玉】	無料	なし	申込不要
28日(金) 13:00~16:00	世界に一つだけのアクセサリ【ガラス溶融】	100円	20名	
30日(日) 10:30~14:00	色鉛筆で○△□でお絵かき	無料	なし	申込不要

環境学習応援プロジェクト

本市では、環境教育及び環境学習のさらなる推進をはかるために、福山市立の小・中学校等から環境保全活動に関する実施計画を募集し、学習内容に応じ支援を行うことで、環境問題の解決に積極的に取り組み、持続可能な社会の担い手となる人材を育成することをめざしています。2018年度に認定を受けた小学校8校の中から内浦小学校の取り組みを紹介します。

○テーマ

「内海」の海に魚の住み処となるアマモを取り戻す取り組み

内浦地区には、海・山の豊かな自然が身近にあり、教育資源が豊富にあります。その豊かな自然から地域の人々は恩恵を受けて島の生活が成り立っています。

しかし、近年の漁獲量減少や環境悪化など、豊かであった内浦の人々の生活に影響が出ています。

アマモの学習を通じ、将来、持続可能な社会を子ども達自身が創造していくためのステップとして、「海の豊かさを守る」ためにできることを見つけて取り組みました。

○活動内容

ふるさと「内海」の海の環境に係る学習

ふるさと「内海」の漁業についての学習

ふるさと「内海」の自然環境の学習

魚の住み処となる「アマモ」について学習し、自分たちでアマモを育て、その苗を海に移植し、魚の住み処を増やす活動



ガラス溶融



サンドブラスト



エコショップ協議会



エコショップ協議会では、毎月紙ごみの拠点回収を行っています。新聞や段ボールなどを持っていくと、ポイントを付与します。ポイントを集めると、ティッシュペーパーと交換しています。



拠点場所(雨天決行) 10時~16時
 毎月 第1水曜(ハローズ南松永店) / 第2水曜(ハローズ新湊店)
 第3水曜(ハローズ東福山店) / 第4水曜(ハローズ駅家モール店)

2019年度 回収実績

期間 2019年4月

回収量 11,690kg
 立木換算 約234本分

※立木換算：古紙 1,000 kg = (直径 14 cm, 高さ 8m) 約 20 本分に相当します。

福山市リサイクルプラザ



Fukuyama Recycle Plaza 〒721-0956 福山市箕沖町107番地2

TEL084-954-2619 / FAX 084-954-4418

E-mail kankyoku-keihatsu@city.fukuyama.hiroshima.jp

開館時間 9:00~17:00 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日)